

子どもに新型コロナウイルスワクチンを接種する

メリット、デメリット

新型コロナウイルスワクチンのスケジュール



ワクチンを接種する

メリット

- 新型コロナに感染しにくくなる
- 万が一新型コロナにかかっても症状が出にくく、たとえ発症しても重症になりにくい
- これからの授業や部活動、旅行への行動制限(ガマン)が緩和される可能性がある

デメリット

- ワクチンを接種したあと、数日間は肩の痛み、頭痛、だるい、熱が出るなどの副反応が出ることがある特に2回目の接種後に頻度が高い
- 心筋炎・心膜炎のリスクがある
米国では、2回目の接種後、12-17歳の100万人中、男性で約50人、女性で約10人に軽症の心筋炎・心膜炎が認められた
なお、新潟県の12-15歳の人口は令和3年1月1日時点で約7.4万人

ワクチンを接種しない

メリット

- ワクチンの副反応(副作用)の心配がない

デメリット

- マスク、手洗い、三密回避などの感染対策以外には追加の対策ができず、感染リスクをさらに減らすことができない
- 感染した場合、稀ではあるが、重症のリスクがある。周りの人にうつす可能性があり、2週間程度、隔離される
味やにおいがわかりにくくなり、そういった症状が長く続くことがある
- 自分が感染する・人に感染させるリスクから、行動制限(ガマン)を今後も続ける必要がある



日本小児科学会

子どもや子どもと接する大人への
接種についてのQ&A

2021年8月末までのデータに
基づいて記載しています
監修 新潟大学小児科

新潟県医師会は、子どもへのワクチン接種をお勧めします

新潟県医師会